

モジュールプラスチックベルト 乾式清掃の7つのステップ

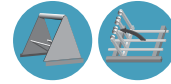
安全のためのキーポイント

- ロックアウト・タグアウト装置については、現場のポリシーに従ってください。
- コンベアベルト運転中は、ベルトの上や内側に手や道具を置かないでください。

個人用保護具



補助クリーニングシステム



このガイドラインは、イントラロックスの傘下会社であるCommercial Food Sanitationの衛生専門家が作成しました。適用規則、企業ポリシー（適用するロックアウト・タグアウト手順を含む）、衛生の検証および妥当性確認の必要性を織り込んだ独自のSSOP（衛生標準作業手順書）を作成する企業は、その際に、清掃・洗浄についての手引きとして本文書をご利用ください。

1. 清掃前の準備

- 不要なもの（材料、包装、ゴミ、ソックスフィルターなど）をすべて取り除きます。
- 個人用保護具（PPE）、清掃具、化学薬品など適切な用具を集めます。
- コンベアを運転し、大きな汚れを落とします。

2. 装置の分解

- 効果的に清掃するために、ベルトを持ち上げます。幅広のベルトや長いベルトは、ここでこじ上げるとエッジを損傷をしやすいので、ベルトリフターを使うのが理想的です。
- 装置にアクセスできるように、受け皿、スクレイパー、つなぎの支えを取り外します。

3. 乾式清掃

- 安全のため、必ず適切な個人用保護具（PPE）を着用・使用してください。
- 上から下へと作業を進め、適切な用具で蓄積した食品の残りを取り除きます。この作業には、ブラッシング、こすり落とし、ふきとり、吸引などの方法が有効です。
- アレルゲンや空中浮遊菌の拡散を防ぐため、圧縮空気はなるべく使わないようにします。
- くずを集めて廃棄します。
- 粗い汚れをできる限り取り除きます。

4. 細部の清掃

- 上から下へと作業を進め、適切な用具でベルトと周辺の装置を細かく清掃します。この作業には、ブラッシング、こすり落とし、ふきとり、ドライスチーム、吸引などの方法が有効です。
- 必要であれば、装置を安全に一周循環させます。
- 床からくずを拾って廃棄します。
- 目視で100%の清浄度が得られるまで、このステップを継続または繰り返します。

5. 自己点検

- 懐中電灯を使い、装置とその周囲を点検します。
- 必要に応じ、清掃し直します。
- ベルト経路を点検し、ひっかかりやすい箇所がないか、道具やホースなどの異物がないか確かめます。

6. 清掃後の運転前点検

- 懐中電灯を使って安全に装置を点検し、食品の残りが残らず、グリース、錆、損傷がないかを確認し、必要があれば清掃し直します。点検のための装置へのアクセスを確保します。
- 適宜、ふきとり検査を実施します。

7. 再組み立てと殺菌

- すべての表面を殺菌し、装置を元どおりに組み立てます。
- すべてのコンポーネント（ベルト抑制ブロック、ベルト上面走行路、スクレイパーなど）が所定の場所に固定されていることを確認します。
- スプロケットが正しい位置にあり、しっかりとベルトと噛み合っているか確かめます。
- すべての道具の汚れを落とし、点検して殺菌します。
- 始動前にそのエリアが乾燥していることを確認します。
- コンベアを運転します。

モジュールプラスチックベルト 湿式洗浄の7つのステップ

安全のためのキーポイント

- ロックアウト・タグアウト装置については、現場のポリシーに従ってください。
- コンベアベルト運転中は、ベルトの上や内側に手や道具を置かないでください。

*洗剤を塗布する際は、次の4つの効果要因を考慮する:

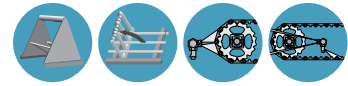
- 時間
- 機械的作用
- 温度
- 正しい化学反応

ベルト材質との化学的適合性についてご質問がありましたら、イントラロックスにご連絡ください。

個人用保護具



補助クリーニングシステム



このガイドラインは、イントラロックスの傘下会社であるCommercial Food Sanitationの衛生専門家が作成しました。適用規則、企業ポリシー（適用するロックアウト・タグアウト手順を含む）、衛生の検証および妥当性確認の必要性を織り込んだ独自のSSOP（衛生標準作業手順書）を作成する企業は、その際に、清掃・洗浄についての手引きとして本文書をご利用ください。

1. 安全確保、分解、乾式清掃

- コンベアを運転し、大きな汚れを落とします。
- 効果的に清掃するために、ベルトを持ち上げます。幅広のベルトや長いベルトは、ここでこじ上げるとエッジを損傷をしやすいので、ベルトリフターを使うのが理想的です。
- 装置にアクセスできるように、受け皿、スクレイパー、つなぎの支えを取り外します。
- 適切な用具で蓄積した食品の残りを取り除きます。
- 粗い汚れをできる限り取り除きます。

2. 予備すすぎ

- 装置を同時に上から下へすすぎます。用途と汚れのタイプに適した温度の水を使ってください。
 - オープンスタイルのベルト（フラッシュグリッド、オープングリッドなど）は、ベルトを停止させた状態ですすぎます。必要であれば、その後ベルトを回転させ、反対側もすすぎます。
 - クローズドスタイルのベルト（フラットトップ、オープンヒンジフラット、SeamFree™など）は、ベルトを安全に回転させながらすすぎます（ベルトを持ち上げたまま回転させることはできません）。ヒンジはコンベアの末端でスプロケットを回るときに開くので、そこに水を噴霧します。
- ベルトの予備すすぎを効果的に行うには、スプレーバーなどの補助クリーニングシステム（ACS）を使用します（利用可能な場合）。
- 床からくずを拾って廃棄します。
- くずを取り除いたら、装置周辺の床を洗い流します。
- 目視で95%の清浄度が得られるまで、このステップを継続または繰り返します。

3. 洗剤塗布とこすり洗い

- 安全のため、必ず適切な個人用保護具（PPE）を着用・使用してください。
- ベルトの寿命と無傷を保つため、ベルトの漬け置きは避けてください。
- 下から上へと作業を進め、装置のあらゆる部分まで行き渡るように洗剤を塗布します。フラットトップスタイルのベルトは安全に回転させて泡を塗布し、ヒンジ部分もしっかり発泡させます。
- 表面をこすって洗い、製品のこびりつきを落とします。ベルトを傷つけないように適切な道具を使います。
- 使用説明書に従い、洗剤の滞留時間が経過するのを待ちます。
- ベルトを効果的に泡で覆うには、スプレーバーなどのACSを使用します（利用可能な場合）。

4. 仕上げすすぎと自己点検

- 上から下へと作業を進め、装置の表面をすべてすすぎます。食品の残りかすがエアロゾル化するのを防ぐために、高圧ではなく流水ですすぎましょう。水圧は150 psi (10バール、1MPa)を超えないようにしてください。
- 装置を安全に回転させながらすすぎます（ベルトを持ち上げたまま回転させることはできません）。
- ベルトのすすぎを効果的に行うには、スプレーバーなどのACSを使用します（利用可能な場合）。
- すすぎをしながら装置の自己点検を行い、必要があれば部分的に洗浄し直します。
- 目視で100%の清浄度が得られるまで、このステップを継続または繰り返します。

5. 正式点検の準備

- 天井、壁、コンベアシステム、床から結露と水たまりを取り去ります。
- すべての道具を片付け、洗浄し、点検します。
- 必要に応じてベアリング（軸受）を掃除して潤滑を施します。
- ベルト経路を点検し、ひっかかりやすい箇所がないか、道具やホースなどの異物がないか確かめます。

6. 清掃後の運転前点検

- 懐中電灯を使って安全に装置を点検し、食品の残りかす、グリース、錆、損傷がないかを確認し、必要があれば洗浄し直します。点検のための装置へのアクセスを確保します。
- 適宜、ふきとり検査を実施します。

7. 再組み立てと殺菌

- 道具を含めすべての表面を殺菌し、装置をすべて元どおりに組み立てます。
- すべてのコンポーネント（ベルト抑制ブロック、ベルト上面走行路、スクレイパーなど）が所定の場所に固定されていることを確認します。
- 使用説明書に従い、殺菌剤の滞留時間が経過するのを待ちます。
- スプロケットが正しい位置にあり、しっかりベルトと噛み合っているか確かめます。
- 法律で定められている場合やラベルに指示がある場合は、殺菌剤をすすぎます。
- コンベアを運転します。

Intralox, L.L.C. USA: フリーダイヤル: 1-800-535-8848 • Intralox, L.L.C. Europe: フリーダイヤル: 800-4687-2569

Intralox Shanghai LTD.: フリーダイヤル: 400-842-3469

世界各地のイントラロックス所在地のすべての国別および業界別フリーダイヤル番号は www.intralox.com をご覧ください。

www.intralox.com



© 2020 Intralox, L.L.C. 5008382_JAPANESE